

SAWAKAMI REPORT

さわかみファンド
月次レポート



さわかみ投信株式会社

2018.8.31

運用状況のご報告

取締役最高投資責任者 草刈 貴弘

皆様の「さわかみファンド」は、8月23日に第19期を終え20年目へと長期投資の航海を進めています。多くの投資信託が市場の変動や投資家顧客との関係性、運用会社や販売会社側の判断により、3～4年で寿命が尽きてしまうわけですが、独立系で直接販売することを貫き続けているさわかみファンドがこれほど長く運用し続けられているのは、ひとえに全てのファンド仲間の皆様のおかげです。改めて感謝申し上げます。

さて、今月の動きといたしましては、8月に入り中旬までズルズルと下げた相場も、後半に入り切り返す展開となっています。月初は、米中貿易摩擦に対する懸念に加え、中国の景気減速傾向が見られ上海総合指数もチャイナショックと言われた2016年の最安値まで下げたこともあり、市場に勢いはありませんでした。夏休みということで取引自体が減少していることや、日米欧の中央銀行総裁が集まるジャクソンホールが開かれることで今後の金融政策を見極めてから動きたいという心理、トルコやアルゼンチンなどの通貨下落に見られる新興国経済の状況なども影響していたと思われます。特に海外投資家の行動を見ると、2018年年初から8月第3週までの日本株現物の売買代金は約3兆8,500億円の売り越しとなっており、リーマンショックの08年を超える額となっていました。その後下旬に入り、米国での企業決算が好調なこと、消費の拡大がデータとして現れ、加えてFRB議長のハト派発言もあり、当面米国経済は堅調であるという楽観がひろがったことで、米国市場の上昇に引っ張られる形で日本市場も盛り返してきました。ところが月末になり、米国の対中関税第3弾のニュースが飛び込んできたことで、日本市場は上値が抑えられてしまいそうです。

ちょうどその切り替えしの前後に、「バフェット流運用の受難」という割安投資を題材とした日経新聞社の記事の中で、私達が取り上げられました。面白いもので、このような記事が出た時がそのピーク、つまり受難の最終段階ということが多々あります。例えば、以前にも紹介しましたが、2012年に元債券王のビル・グロースが「株式の死亡宣告書」を書くべき時が来たと言った直後や、79年に米国有力誌が「株式の死」という特集を組んだ直後などです。今回もそうだということではありませんが、皆（特に米国市場）が成長株に偏重している事実は見逃せません。

9月22日の運用報告会でもお話ししたいと思いますが、私たちは「優れた企業（CSV※、地域活性化、成長）に対し、応援する気持ちで投資しパートナー株主になる」という理想を追求し、20期以降も長期投資でいい世の中を実現すべく長期投資の航海を進めていきます。

※（Creating Shared Value：共通価値の創造）

企業が社会的課題を本業で解決することで経済的価値を生み出し、自社の持続的成長につなげる戦略

※さわかみファンドにおけるリスク・手数料については、ページ④に記載の「ご留意事項」をご覧ください。

ファンド情報

2018年8月30日現在

顧客数（直販分）

117,114名（直近1か月 +47名）

定期定額購入 契約数

37,238名（全体比31.8%）

定期定額購入サービススケジュール

受付締切日（金額変更・中止）：2018年9月14日（金）

振替日（引落日）：2018年10月1日（月）

約定日（買付日）：2018年10月10日（水）

約定日（買付日）とは…

振替日に引き落とされた金額によって、実際に『さわかみファンド』の買付が行われる日（約定日の基準価額が約定価額となります。）

お知らせ

9月22日（土）パシフィコ横浜 「さわかみファンド」運用報告会 2018 を開催します !!

毎月お送りしているこの月次レポートでは、投資先企業の名前とその運用状況が並んでいますが、その企業が実際にどういう事業を行っているのか、どういった方が働いているのか、ご覧になれるチャンスです。ぜひ直接、企業ブースを訪れて今まで知らなかった事業や今後の展望などについて話を聞いて、質問をぶつけてみてください。

出展企業による講演があります

満席の講演も出てきていますが、まだまだ残席のある講演もございますので、あわせてお申し込みください。

「さわかみファンド」運用報告会特設サイト
<https://www.sawakami.co.jp/uh2018/>
【お申込みキーワード： sawakami2018】

